愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	地域ビジネス特講Ⅲ		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

社会や地域には様々な問題・課題があり、それらの解決を目指して支援の活動やビジネスが行われている。この授業では、多様な社会問題・地域課題と支援活動・ビジネスについて、具体的な事例を交えて理論的かつ実践的に学ぶ。「社会問題と支援」では、雇用・労働問題、知的財産権問題、福祉・介護、子ども支援、国際交流・協力等、「地域課題と支援」では、災害救援・防災、町並み保全、環境保全、基地問題と地域経済、伝統工芸産業、農村・都市交流、観光等について学ぶ。併せて、多様な社会問題・地域問題の情報・ニュースの読み取り方と活かし方の実践的ノウハウを学ぶ。必要に応じて、各回で雑学、時事問題、就活情報等も紹介する。授業形態は、原則各回を対面とするが、必要に応じて事前に連絡した上でオンラインで行う場合がある。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	実践的な学習に重点を置いて、授業テーマに関わる具体的な事例を多く取り上げて、知識・ノウハウを深める。特に、担当教員が実際にビジネスや活動に携わった事例、あるいは調査研究で関わった事例を主に取り上げることで、リアリティを持って理解できるようにする。事例学習は各回必要に応じて行う。 担当教員は、シンクタンク企業や民間非営利組織10団体以上に所属して、様々な実践活動や国・自治体の政策形成に携わってきていることから、その具体的な実務経験を紹介することで、リアリティを持って実践イメージを持てるようにする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方・課題・成績評価方法等。社会問題・地域課題と支援活動・ビジネスの概要等	□
第2回	社会問題と支援(1)：雇用・労働問題	様々な働き方。労働契約の締結。採用内定と取消。雇用・労働ルール（労働条件・賃金・時間・休日・有給休暇等）。保険・年金制度。職場のハラスメント。雇用・労働問題の相談窓口。仕事の退職・解雇と支援制度。奨学金（JASSO）の返還対策と支援	□
第3回	社会問題と支援(2)：知的財産権問題	活動・ビジネスにおける知的財産権とは何か。知的創造物の権利（特許権、実用新案権、意匠権、著作権等）。営業上の標識の権利（商標権、商号等）。産業財産権（事例：スマホ等）。事例：ＮＰＯ・ボランティア「商標」問題。	□
第4回	社会問題と支援(3)：福祉・介護	障がい者の介護支援（種類、人数、定義、法律、雇用の状況、支援事業）。高齢者の介護支援（保険制度、要介護認定、サービス利用、地域包括支援センター）	□
第5回	社会問題と支援(4)：子ども支援	日本の子どもの貧困問題。子どもの権利条約。子ども支援の法律。子どもの居場所づくり（フリースクール、子ども食堂等）。事例：子どもの支援活動を行うＮＰＯ等	□
第6回	社会問題と支援(5)：国際交流・協力	国際交流・協力とは。ODA（政府開発援助）・JICAの活動。ＮＧＯ（民間非政府組織）の活動。事例：奈良まちづくりセンター、ラグビーワールドカップ親善、日中友好７団体、国際協力NGOセンター等	□
第7回	前半授業の掘り下げと事例	前半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等	□
第8回	地域課題と支援(1)：災害救援・防災	災害の種類。避難・救援・復旧・復興と支援。ＮＰＯ・ボランティア等による災害支援。企業等の災害支援ビジネスと自社救援・復旧。事業継続計画（ＢＣＰ）。災害と支援活動の事例（阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震・コロナ禍等）。	□
第9回	地域課題と支援(2)：町並み保全	町並み保全がなぜ必要か。各地に残る古い町並みを保存し活かしたまちづくり。町並み保全の法律・政策。町並み保全の活動・ビジネスの事例（全国町並み保存連盟、奈良まちづくりセンター等）	□

第10回	地域課題と支援(3)：環境保全	様々な環境問題。企業による環境産業・ビジネス。NGO・NPOによる環境保全活動。環境保全・再生の事例（環境保全と環境産業のきっかけとなった香川県豊島の豊島事件（産廃不法投棄事件）。水俣病から環境モデル都市へ再生した水俣市等）	□
第11回	地域課題と支援(4)：基地問題と地域経済	日本本土から沖縄に移された米軍基地。米軍基地問題と地域経済の歴史・現状・課題（事例：沖縄の米軍基地問題と地域経済、沖縄以外の米軍基地・空域）	□
第12回	地域課題と支援(5)：伝統工芸産業	古くから続く伝統工芸産業の現状と課題。国の伝統的工芸品とは。各地の伝統工芸産業。事例：沖縄県の伝統工芸産業（歴史、現状、展望）	□
第13回	地域課題と支援(6)：農村・都市交流	農山漁村・中山間地域の過疎問題。都市の過密問題。過疎地域の指定と支援。農村・都市交流のあり方と例。事例：地域おこし協力隊等	□
第14回	地域課題と支援(7)：観光	観光とは。観光の３つの構成要素。観光の社会的役割と経済的役割。観光関連産業。観光の情報。事例：長崎さるく等	□
第15回	後半授業の掘り下げと事例	後半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に授業テーマに関する予習をしておき（１時間程度）、事後に授業での学びを整理して考察すること（３時間程度）。授業中にしっかりとメモ（ノート）を取り、想像力を働かせながら理解・イメージした上で、学んだことを整理して、自身の言葉・文章で適切に表現すること。学んだことを実社会での出来事と照らし合わせるとともに、そこから自らの疑問や興味に応じて様々な手段で学びを深めて、自らの考え方を持てるようにすること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で少しずつレポート課題（授業での学びや考察等）を行うことで無理なく復習等を行い、将来の仕事・生活や就職活動等で活かせるように学びの蓄積を行いやすくする。質問・意見等への回答等フィードバックは次回以降の他、電子メールや研究室等で柔軟に行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	**◆ 2021地域ビジネスDP2**	多様な社会問題・地域課題と支援活動・ビジネスを理論的かつ実践的に理解して具体的なイメージを持つことができる。多様な社会問題・地域課題の情報・ニュースの読み取り方と活かし方の実践的ノウハウの基礎を理解して身につけることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中の各回授業レポートで評価。原則、各回授業に出席することで出席扱い。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を必要に応じて授業中に紹介する。	

2		
3		
4		
5		